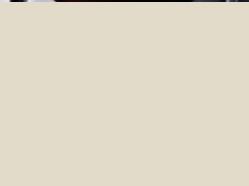


第3期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



伊藤ハム米久ホールディングス株式会社
ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.

証券コード 2296

■ トップメッセージ

株主の皆様には日頃より当社をご支援賜りまして、誠にありがとうございます。この度の地震、豪雨及び台風などの自然災害により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。当社グループの第3期中間報告書(2018年4月1日から2018年9月30日まで)をお届けいたします。

代表取締役社長

宮下 功



当第2四半期の業績の概要

- ハム・ソーセージは、主力商品が総じて堅調に推移したものの、業務用商品が伸び悩みました。
- 調理加工食品は、消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、販売数量を伸ばしました。
- 食肉は、国内事業における売上高は増加したものの、海外事業については、調達コスト上昇等の影響を受けて、収益面では苦しい状況となりました。

伊藤ハム、米久の主要トピックスはP3-4へ

業績の振り返り

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調で推移しましたが、海外では米中間の貿易摩擦の長期化が世界経済に及ぼす影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が継続しております。

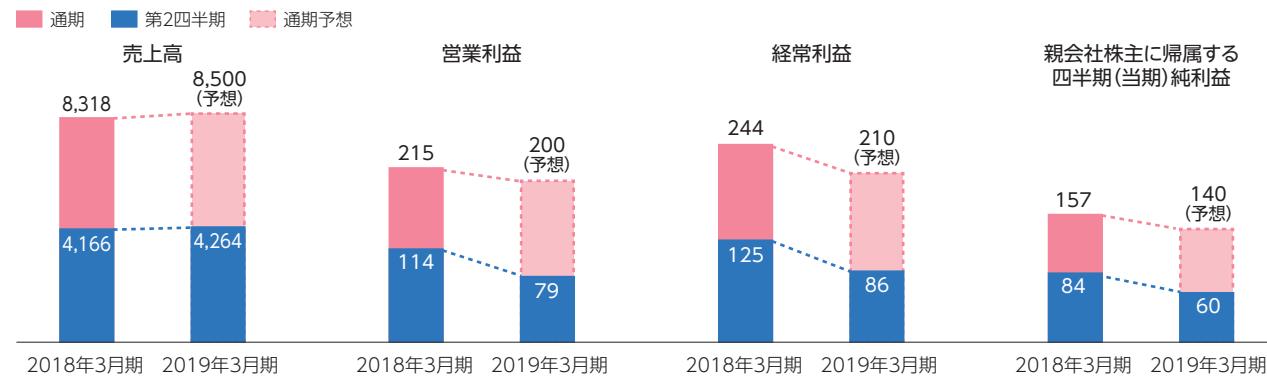
当業界におきましては、原材料を含めた生産コストの上昇及び物流コストの高止まりが続く中、食料品等の日常生活品に対する消費者の低価格志向は依然根強く、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の

業績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べて97億87百万円増加して4,264億25百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。営業利益は、前年同四半期に比べて34億85百万円減少し、79億49百万円(前年同四半期比30.5%減)となりました。また、経常利益は、前年同四半期に比べて39億46百万円減少し、86億5百万円(前年同四半期比31.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べて23億59百万円減少し、60億58百万円(前年同四半期比28.0%減)となりました。

財務ハイライト

(単位:億円)



「中期経営計画2020」 ～ネクストステージへ～

本計画の最終年度である2021年3月期には売上高1兆円、経常利益300億円、経常利益率3%以上の業績目標を達成して名実ともに食品リーディングカンパニーとなるためグループ一丸となって取り組んでおります。

業績目標

(単位:億円)

2021年3月期計画

売上高	▶ 10,000
経常利益	▶ 300
経常利益率	▶ 3.0%

売上高内訳

調理加工食品	▶ 2,000
ハム・ソーセージ	▶ 2,000
食肉	▶ 6,000

主要事業別の概況

加工食品事業



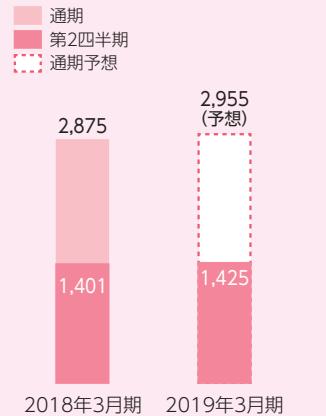
売上高構成比
33.4%

売上高 1,425 億円 前年同期比 1.7%増

営業利益 36 億円 前年同期比 38.2%減

- ハム・ソーセージは、テレビCMの投入や消費者キャンペーンの実施により、「TheGRAND アルトバイエルン」「朝のフレッシュ®シリーズ」等の主力商品は総じて堅調に推移したものの、業務用商品は伸び悩みました。
- 消費者の簡便志向・健康志向に対応した商品提案を強化し、「ラ・ピッツァシリーズ」や「サラダチキン」が好調に推移しました。
- ハンバーグ・ミートボール類やトンカツなどのフライ商品に加え、「レンジでごちそうシリーズ」などの簡便調理をアピールした商品の拡販に努め、販売数量を伸ばしました。

売上高 (単位:億円)



食肉事業



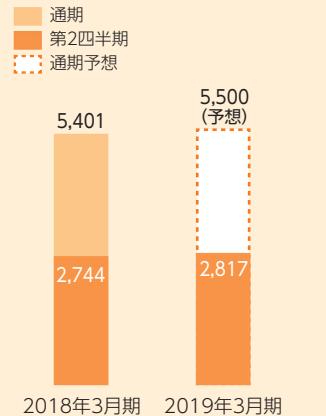
売上高構成比
66.1%

売上高 2,817 億円 前年同期比 2.7%増

営業利益 47 億円 前年同期比 20.1%減

- 国内事業は、新規取引先の獲得や国内生産者との連携強化とともに、オリジナルブランド等の付加価値の高い商品の拡販に努めて売上高は増加しました。
- 海外事業は、アンズコフーズ社の売上高は増加したものの、調達コストの上昇等の影響を受けて、収益面では苦しい状況となりました。

売上高 (単位:億円)





「伝承」厳選ロースハム
特選ももハム



「伝承」バラエティセット



笠原将弘氏監修
こだわりの和食ギフト
三種の豚角煮

これからも社会貢献活動に取り組んでいきます

～寄付活動により、紺綬褒章に係る褒状を拝受しました～

伊藤ハムは、日本ユニセフ協会への10年に及ぶ寄付の功績が認められ、国より紺綬褒状を拝受しました。日本ユニセフ協会へは2008年度から寄付を行っており、寄付金合計は1億5,945万9,485円となりました。引き続き、伊藤ハムグループの創業精神「事業を通じて社会に奉仕する」のもと、地球環境への配慮と、地域社会との共生を目指して、社会貢献活動に取り組んでいきます。



授与式の様子
左から伊藤ハム 柴山社長、日本ユニセフ協会 早水専務理事



企業・ブランド価値の向上をはかります

～「伝承」を主軸に、ギフト市場拡大を目指します～

伊藤ハムは、ハムギフトトップブランドの「伝承」を主軸に、国産原料肉使用ギフトの強化を行い、高品質ギフトの拡大を目指します。コミュニケーション戦略では、引き続き、歌舞伎界から二代目松本白鸚氏をお迎えし、“伝統”“歴史”“ハムづくりの想い”をお伝えいただきます。調理品ギフトでは、笠原将弘氏監修でご好評いただいているこだわりの和食ギフトから、自家需要をターゲットにした商品を発売し、ハムギフトでご愛顧いただいている「黒の誉」から、新たに調理品を組み込んだギフトを発売します。ハム・ソーセージギフトを柱に、調理品ギフトにも注力することでギフト市場拡大を目指します。

永年のご愛顧に感謝 40周年の米久ギフト

～今冬ギフト、オンラインショップのご案内～

米久の会員制カタログギフト事業「ありがとうギフト」は、おかげさまで40周年を迎えました。今年も会員様のお手元に、季節ごとのカタログや定期便のご案内などをお届けしています。今冬のカタログ「18W 米久の贈りもの お歳暮」では、人気商品を詰め合わせた「米久の晩餐 至福の味」や「40周年セット」など、おもてなしや年末年始の食卓に、また贈り物にも最適な商品をご案内しています。

また、米久公式オンラインショップ「米久-eショップ」でも米久の商品をお買い求めいただけます。品数も豊富に取り揃え、お買い得商品もございますのでぜひご利用ください。

米久-eショップ

<http://www.yonekyu-eshop.jp/>



米久の晩餐 至福の味



40周年セット

「富士山基金」へ寄付を実施しました

米久は8月21日、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が運営する「富士山基金」に対し、富士山の標高3,776メートルにちなみ3,776,000円の寄付を実施しました。この寄付金の一部は、富士山の環境保全・保護活動、啓発活動などに使用されています。2009年からの寄付金合計は36,167,811円となりました。主力商品である「御殿場高原®あらびきポーク」など「御殿場高原®シリーズ」各商品を本活動応援商品としており、商品パッケージや米久ホームページ上にて消費者の皆様にお伝えしています。



御殿場高原®
あらびきポーク



贈呈式の様子
左から米久 堀内社長、
富士山世界遺産国民会議 大庭事務局長



富士山保全活動
応援ロゴ

伊藤ハムと米久のおいしいPR届けます



主力商品「TheGRAND アルトバイエルン」 「朝のフレッシュ®シリーズ」のキャンペーンを展開



伊藤ハムは、熟成ウインナー市場購買金額でシェアナンバーワン*1を獲得している「TheGRAND アルトバイエルン」の熟成が醸し出す「コクと深み」を広く認知いただくこと、さらに10月9日の「熟成の日*2」を盛り上げるべく「雪室熟成和牛」や「熟成ハム九州」などが抽選で当たるほか、No.1マーク15枚で「ビール共通券(350ml 2缶)が絶対にもらえる」「熟成キャンペーン」を実施いたしました。

また、「いとうあさこさんのテレビCM」が好評の「朝のフレッシュ®シリーズ」をご愛顧いただいているお客様に感謝を込めて「朝ハムで笑顔の食卓キャンペーン」を展開しました。

*1 16年7月～17年6月 金額集計(全国)熟成ウインナー市場 ブランド別伊藤ハム調べ(株式会社Rデータより)
*2 伊藤ハムでは10月9日を「熟成の日」と定め、さらに「熟成ウインナー TheGRAND アルトバイエルンの日」として、日本記念日協会に認定されるなど、プロモーション活動を積極的に進めてまいります。



松重豊さんを起用した「スーパーBOO ホワイトあらびき」のテレビCMを、2018年9月より一部地域で放映しています。一番の商品特長である、ごろっとした肉感、喫食時の満足感や楽しさを、ワイルドかつコミカルに表現し、お客様にアピールする内容となっています。

「スーパーBOO ホワイトあらびき」の商品特長



お肉本来のジューシーなうま味や食感を味わっていただけるよう、一度も冷凍していないチルドポークを原料に使用。豚肉を粗めに挽くことで、食べ応えのあるごろっとした肉感にこだわりました。焼肉はもちろん、スモークしていないホワイトタイプなのでポトフなどの料理の具材としてもおいしくお召し上がりいただけます。

会社概要

商号	伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 (英文名: ITOHAM YONEKYU HOLDINGS INC.)
事業内容	食肉加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売、調理加工食品、惣菜類の製造及び販売などを行うグループ内傘下子会社の経営管理及びこれに付帯する一切の業務
本社所在地	東京都目黒区三田1丁目6番21号
設立	2016年4月1日
資本金	300億円(1億円未満切り捨て)
従業員数	7,913名(連結)

取締役

取締役会長	小川 広通
代表取締役社長	宮下 功
代表取締役副社長	柴山 育朗 品質保証担当 グループ生産事業・R&D担当 伊藤ハム(株)代表取締役社長
取締役常務執行役員	堀内 朗久 米久㈱代表取締役社長 営業本部長
取締役常務執行役員	大沼 尚人 コーポレート担当(経理財務・総務・人事) コンプライアンス担当 伊藤ハム(株)専務取締役 管理本部長
取締役執行役員	山口 研 グループ食肉事業担当 伊藤ハム(株)常務取締役 食肉事業本部長
取締役執行役員	米田 雅行 伊藤ハム(株)常務取締役 加工食品事業本部長
取締役(社外)	市毛 由美子
取締役(社外)	伊藤 綾

監査役

常勤監査役	土屋 昌樹
監査役(社外)	今村 昭文
監査役(社外)	市東 康男

株式の状況

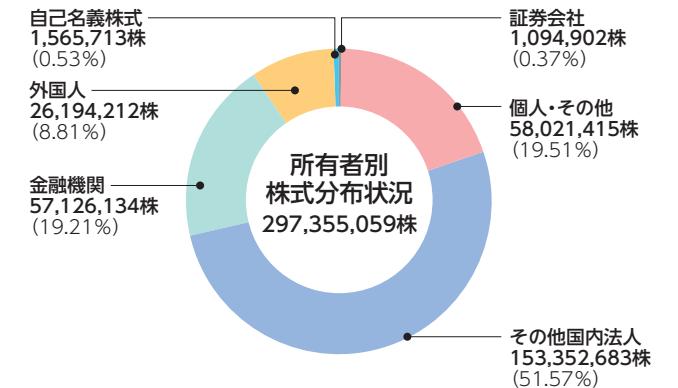
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	297,355,059株
株主数	42,960名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱商事株式会社	115,779	38.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,706	4.61
公益財団法人伊藤記念財団	12,000	4.04
エス企画株式会社	10,339	3.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,329	2.13
株式会社三菱UFJ銀行	6,303	2.12
株式会社三井住友銀行	6,303	2.12
公益財団法人伊藤文化財団	6,200	2.09
株式会社みずほ銀行	5,043	1.70
日本生命保険相互会社	2,749	0.92

(注)上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。

株式分布状況



株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、より多くの株主様に当社株式を長期間保有していただくため、株主優待制度を導入しております。

対象

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された1,000株以上を保有する株主様を対象といたします。

優待内容

5,000円相当の当社グループ商品を贈呈いたします。

贈呈時期

2019年6月中旬を予定しております。



※写真はイメージですので、商品の内容は一部変更になる場合がございます。

CSR報告書のお知らせ



伊藤ハム・米久両社のこれまでの歩みや、CSR活動の取り組みをすべてのステークホルダーの皆様にご理解いただき、よりコミュニケーションを深めるために作成いたしました。また「CSR報告書2018」は、当社ウェブサイトにてご覧いただけます。

<http://www.itoham-yonekyu-holdings.com/csr/download.html>

UD
FONT



株式事務の ご案内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

☎ 0120-782-031